



University of Tsukuba

目次

留学ハンドブック刊行にあたって 2

筑波大学の留学について 3

プログラム紹介 11

プリンスエドワード島大学・夏期語学研修（カナダ）
プリンスエドワード島大学・交換留学（カナダ）
海外英語研修（オックスフォード大学・イギリス）
バイロイト大学夏期ドイツ語研修（ドイツ）
サンクトペテルブルグ大学交換留学・語学研修（ロシア）
上海語学研修プログラム（華東師範大学・中国）
湖南大学夏季短期研修（湖南大学・中国）
アラビア語と現地文化を知るための研修
フルサ・サイーダプログラム（チュニジア、ヨルダン）
地域研究イノベーション学位プログラム

留学体験記 33

アメリカ合衆国
カナダ
メキシコ
フランス
ドイツ
ロシア
チュニジア
ヨルダン
中国
韓国
タイ

留学手続きについて 69

危機管理対応マニュアル 81

比較文化学類

留学ハンドブック刊行にあたって

比較文化学類長 青柳悦子

若さとは何でしょうか。それは自分を変貌させないではいけないエネルギーのことかもしれません。

私たちのなかには今まで自分が味わったことのない環境に身を置き、とまどったり、驚いたり、発見したりしながら、変わっていく自分を楽しみたいという根源的な欲求があるに違いありません。

留学や海外体験は、馴染みきった世界から少しだけ離れて、新しい空気に自分を触れさせてあげる機会の最たるものです。おそらく皆さんの世代では、一生の間に一度も国外に行かない人はとても少ないでしょう。しかし、いわゆる観光とは異なった、自分を成長させるための旅の経験は誰にでもできるものではありません。大学生という人間としての成長期は、それを始める絶好の時期です。外国語も使ってみてこそ必要性が実感できることでしょう。

私はこれまで25か国ほどを訪れましたが、大人になっても外国滞在には苦労がつきものです。しかし、大学時代にフランスで2か月を過ごした最初の渡航経験が、不便さをも貴重なものと思う心構えを育ててくれました。ちっぽけな自分ではありますが、海外に身を置くたびに、世界のなかで自分が何をなすうのか、真剣に問い直すチャンスになります。みなさんも、自分が異邦人となる経験や、同時代の地球を生きる人々と出会いを通して、多くのことを感じ、思いもかけない成長の体験をしてください。そしてとりわけこれからの世界をどうしていきたいのか、考えてほしいと願っています。

さて大きな未知の体験には準備が必要です。留学や海外経験に強い関心のある人も、今のところあまりそうではない人も、このパンフレットを読んで、先輩たちの経験から具体的なイメージをつかんだり、実現のためにはどんなことをするとよいのかを、ぜひ身近なものとして考えたりしてみてください。

この小冊子がみなさんの可能性を広げる手立てとして役立ちますように。

筑波大学の留学について

留学生センター 助教
山田 亨

皆さんのなかには日本の義務教育と高校教育を受けてきて、本学に入学した人たちも多いのではないのでしょうか？これまでの教育では、ある程度きめられた科目を履修し、それを確実にこなしていくことが重視されてきたことも多かったかもしれません。それに対して、大学での科目履修は少々異なっていることにお気づきかと思います。卒業要件に向けた大まかな科目履修に関する規定はあるものの、それを正しく把握しそして履修科目を選択し、卒業にたどり着けるようになることが学生個々人の責任とされています。つまり、大学ではそれぞれの自主性・自律性が重視されるわけですが、このことは留学においては特に際立っています。

留学を考える際、まず最初にしなければいけないことは個々の学生がそれぞれに目標を設定することです。それぞれが、自身の語学力を見つめなおし、どこに行きたいか、留学先で何を学びたいか、留学資金の準備・工面はどうするか、などを考え、そして、その目標を達成するためにはどのような準備をすればいいのか…。留学には、海外の大学に正規生として入学し学位取得を目指すものから、本学が協定を締結した海外の大学で1学期間から1年間留学するもの、そして、1学期未満の語学研修や文化研修など様々です。留学は、それぞれ自身の目的を考え、そして、どの留学制度が自分に合っているのかを考えることから始まっています。ここでは、本学が提供している留学制度の概略を提示することで、皆さんが計画を立てる助けに少しでもなれと思います。



留学の種類について

本学では様々な目的に合わせた様々な留学制度を提供しています。大まかには（１）すべての学生に開かれている留学制度と、（２）部局（学群や学類）に所属する学生のみを対象を限定した留学制度の違いがあります。また、留学の種類も、数週間の語学・文化研修から、学士課程と修士課程が一貫型になった5年間のプログラムなど多岐にわたります。

I 語学・文化研修等

語学・文化研修は一般的に3から5週間程度におよび、春期・夏期休暇期間中に実施されるものやCモジュールに集中で開講されるものなど多岐にわたります。自分の目的にあった研修を検討してみてください。平成26年に企画・実施されたものの一例を以下にあげてみます。

1. 語学研修

英語圏

夏期休暇：（カナダ）プリンスエドワード島大学（主催：比較文化学類）

夏期休暇：（イギリス）オックスフォード大学（主催：外国語センター）

ドイツ語

夏期休暇：バイロイト大学（主催：外国語センター）

ロシア語

夏期休暇：（ロシア）サンクトペテルブルク国立大学（主催：外国語センター）

中国語

夏期休暇：（中国）湖南大学（主催：外国語センター）

2. 語学研修+α

英語圏（プラス課外活動として農業分野の活動）

秋C：（アメリカ）ユタ州立大学グローバルアカデミープログラム

（主催：生物資源学類）

中国語（プラス現地企業での体験学習）

春期休暇：（中国）華東師範大学（主催：外国語センター、上海教育研究センター）

アラビア語（プラス課外実習等）

フルササイーダプログラム

春C：（チュニジア）チュニス・エルマナール大学（主催：北アフリカ研究センター）

夏期休暇：（ヨルダン）ヨルダン科学技術大学（主催：北アフリカ研究センター）

3. 海外フィールド研修（語学研修はなし）

英語圏（フィールド調査演習）

春期休暇：（アメリカ・ハワイ）海外フィールド演習（主催：国際総合学類）

上記プログラム以外にも、各学群や学類が主催している研修プログラムが多くあります。それらのプログラムが異なる学類の学生に開放されているかどうかはプログラムによって異なります。

またプログラムによっては、毎年度、参加学生が諸条件を満たす場合、JASSO海外支援制度（日本国籍もしくは日本の永住権保持者に限る）やつくばスカラシップの支給対象になる可能性がありますので、主催組織の担当の教職員とも相談しながら渡航費の計画を立てることをお勧めします。

Ⅱ 筑波大学が持つ国際交流協定に基づく交換留学

本学では2014年10月現在、約250の大学や研究組織と学生交流に関する協定を締結しています。この協定に基づき留学するのが、一般的に「交換留学」と呼ばれる留学制度です。留学期間は基本的に1学期間から1年間であり、「授業料不徴収」に関する協定を結んでいる大学へ留学する場合は、筑波大学へ授業料を支払うことで留学先の大学への授業料は免除（もしくは減免）される制度です。

本学の協定校については以下のリンクに掲載されています：

<http://www.tsukuba.ac.jp/global/interaction.html>

協定校への交換留学には、授業料の不徴収や減免以外にも、いくつかの利点があります。

- ・学内外の各種奨学金に申請ができること。例えば、JASSOの海外留学支援制度（協定派遣）および本学が実施するつくばスカラシップ交換留学支援奨学金などに申請できる（これらの奨学金は、休学をして自分でアレンジして渡航する留学では申請できません）。
- ・協定校で修得した単位を本学で認定することができること、など。

しかし、国際交流協定に基づく留学の場合、「交換留学」ということばが示す通り、多くの場合派遣学生数と受入学生数の数がバランスが取れていることが必要です。そのため、本学からの派遣学生数が超過している協定校へは受入学生の人数との調整が取られるまでの間、派遣ができない場合もあります。

また、語学や成績の基準は協定先の大学によって異なります。例えば、欧米圏の大学では派遣の前の時点で授業についていけるだけの語学力を求められることもあります。特に英語圏の大学では、ディスカッション力やレポート執筆力などを渡航前の段階から求められていることが多いため、時間をかけてしっかりとした準備に取り組む必要があります。それに対して、中国や台湾をはじめとしたアジア圏などでは渡航先で現地語を学べるプログラムも多くあります（しかし、大学によっては現地語で科目が履修できるようになるまで、一定以上の英語力を求められる大学もあります）。

	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
8・9月開始地域 (北米、欧、中国、アジアなど)	語学試験スコア等				学内締切 (グローバルコモンズ や支援室の掲示板で締切を要確認！)				留学先へ提出する書類の作成・提出			8月渡航
オーストラリア、NZ、台湾(2月出発)					学内締切		書類の作成・提出		渡航・学期の開始			
1月開始地域(北米、東南アジア、韓国など)		学内締切			書類の作成・提出		渡航・学期の開始					

Ⅲ プログラム型留学制度

本学では上記の交換留学だけでなく、特定の地域・分野に絞り込んだプログラム型の留学制度もあります。その中でも、比較文化学類の学生が参加できるのが下記の2つのプログラムになります：

1. TAGプログラム(Trans ASEAN Global Agenda Educational Program)

TAGプログラムとは本学で2013年より始まった新しいプログラムです。日本語で「グローバル課題挑戦的教育プログラム」と訳され、国連ミレニアム開発目標と、これに続く持続開発可能な開発目標を基に、東南アジアにおける諸問題、及び日本とASEANとの協力体制に関する理解を深め、グローバルな諸問題に対応できる人物を養成することを目的にしています。

7つの分野から参加学生がそれぞれの関心にあった分野と東南アジアのパートナー大学を選択し、そこで、選考された25人の学生が毎年1学期間の留学に取り組むことになります。TAGプログラムの魅力は、プログラム生として選考された場合、現地での授業料が免除されるだけでなく、渡航費やJASSO奨学金が支給されるなど、サポートが非常に手厚いことです。ちなみに、パートナー大学での授業はすべて英語で開講されるため、申請にあたってはTOEFL等の点数が必要になります。

TAGプログラムの情報は以下のリンクで閲覧できます：

<http://tsukuba-aims.xsrv.jp/asean/>

2. ASIP（地域研究イノベーション学位プログラム）

ASIP（Area Studies Innovation Program）学士後期と博士前期の一貫教育コース（5年制）として、留学しても卒業・修了年限が長期化しないようにデザインされたプログラムです。ASIPでは、新興国における1年間の留学（フィールド調査）と海外インターンシップの実施を義務付け、プログラム生が新興国における日本の国際競争力の向上を支える人材になることを目的としています。早期終了と留学中の奨学金制度、そして、様々な領域の視点を実務に従事する人たちから直接講義を聞くことができることなど、魅力が満載のプログラムです。

ASIPの情報は以下のリンクで閲覧できます：

<http://asip.hass.tsukuba.ac.jp/>

奨学金制度について

海外留学に関しては、様々な奨学金制度や渡航支援制度があります。大まかにはプログラム自体が奨学金を準備しているものと、学生が個人で応募するものとがありますので、常に応募状況を確認してみてください。

また、学期の途中に急遽募集が行われる奨学金制度もありますので、最新の情報は各支援室の掲示や留学生センター前の立て看板等を常にチェックするとともに、グローバルコモンズ機構の国際交流支援部門（海外留学）（留学生センター2階事務室）にもお気軽にお問い合わせください。

1. 短期研修（語学・文化など）に関わる奨学金について

学内で募集している短期研修では、参加学生に対して奨学金を支給しているものが多いです。多くの場合、学生が直接助成団体に申請するのではなく、各研修がそれぞれに奨学金枠の調整をしている場合がありますので、各研修プログラムの主催組織の担当の教職員やグローバルコモンズに問い合わせください。

2. 海外留学支援制度（協定派遣）

JASSOが奨学金を支給する制度で、本学と学生交流に関する協定を締結している海外の大学に8日以上1年以内の期間で留学する場合に支給される制度です。

本学では複数の留学プログラムが本制度のもとで運営されており、奨学生の採用にあたってはJASSOの規定に基づき選考が行われます。具体的な選考方法は各プログラムそれぞれで異なりますので、希望する学生は学内の各プログラムもしくは協定校を担当する教職員、もしくは、グローバルコモンズ機構にお気軽に問い合わせください。

3. つくばスカラシップ交換留学支援奨学金

この制度は、本学と学生交流に関する協定を締結している海外の大学に3ヶ月以上1年以内の期間で留学する場合に本学より支給される制度です。本制度は各所属学類・専門学群・研究科の推薦に基づき、全学で審査が行われます。

4. 外国政府および民間財団による奨学金

それぞれが希望する留学先や学生の住所（もしくは本籍地）に基づいて、各自で申請する奨学金制度です。留学の条件や募集の規定等は政府や財団によって違います。外国政府および民間財団による奨学金については、JASSOが分かりやすい検索サイトを提供しています：

https://www.g-studyinjapan.jasso.go.jp/scholarship_abroad/page?action=swfglsearchjasso

アドバイス、質問、疑問等について

どうしていいかわからないことも多いかと思います。グローバルコモンズ機構でも比較文化学類の国際交流委員会の先生と連携しながらサポートに取り組んでいます。このハンドブックに掲載しきれない情報もありますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

連絡先：グローバル・コモンズ機構 国際交流支援部門（海外留学）

場所：留学生センター2階

山田 亨 （人文社会系 助教）

場所：留学生センター2階、3K棟405号室

オフィスアワー：学期ごとに異なります。

e-mail: yamada.toru.ga@u.tsukuba.ac.jp

グローバル・コモンズを活用しよう！

グローバル・コモンズのホームページには、提携校一覧など、重要な情報があります。ぜひアクセスしてください。

<http://g-commons.global.tsukuba.ac.jp/news/>

「留学へのロードマップ」には提携校一覧などが掲載されています。

本パンフレットと一緒に活用してください。



スチューデント・コモンズでは留学相談、英文書類作成サポートなどが行われています。また、留学に関する様々なイベントの開催、「留学へのロードマップ」をはじめとした数多くの資料も提供されています。

開室時間：9:00-21:00（平日）

※スタッフの対応時間は9:30-17:00

（イベント開催時は20:30まで）

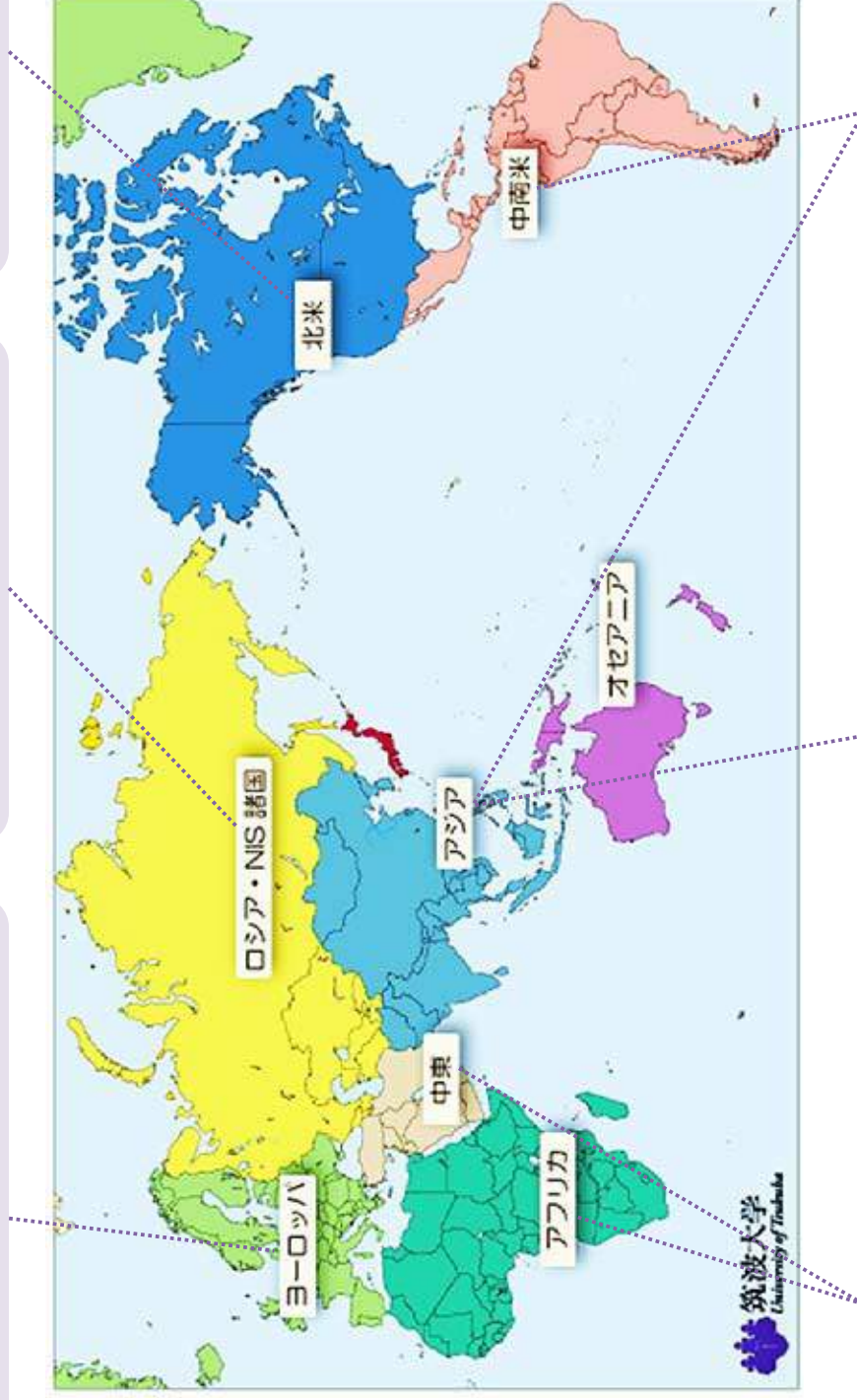
TEL：029-853-7828

主な留学先

- ・オックスフォード大学英語研修 (イギリス)
- ・バイロイト大学夏期ドイツ語研修 (ドイツ)

- サンクトペテルブルグ大学 (ロシア)
- ・交換留学
- ・夏期語学研修プログラム

- プリンスエドワード島大学 (カナダ)
- ・夏季語学研修
- ・交換留学



フルサ・サイダープログラム
(ヨルダン、チュニア)

上海語学研修プログラム (中国)
湘南大学夏季短期研修 (中国)

地域研究イノベーション学位プログラム
(新興国13か国)

